



新春を迎えて 会長 織田 善夫

明けましておめでとうございます。穏やかな元旦を迎えることができました。この年末年始は、曜日のおかげで 9 連休の長期休暇で、ビッグな冬山山行を楽しんだ岳人も多かったのではないのでしょうか。元気老人が増えたためか、昨年の山の遭難事故も 60 歳以上の高齢者が 49% を占め、転倒、道迷いが 1・2 位とのこと。

低山といえども山は非日常、事故率は高い。心身の柔軟性と計画、行動の柔軟性を大事にしたい、小さなアクシデントには、耐え乗り越えられる術を身につけたいものです。



月例山行 継鹿尾山 273m 12月8日

水谷、中村、柴橋、市橋

▲10 時名鉄善師野駅に集合するが、天候が雨からみぞれに変わり、入山を中止する。犬山駅に引き返す。10 時 15 分犬山駅から寂光院を目指す。11 時寂光院着。紅葉が見事で、観光客もたくさんいた。11 時 15 分天候が回復したので、継鹿尾山を目指す。紅葉を眺めながら山頂に向かう。40 分ほどで山頂着。雨もすっかりあがり、犬山城や「遠くの岐阜城も眺めることができた。12 時 15 分下山開始。帰りも晴れ渡り山々の紅葉を観ることができた。ゆっくり歩いて 13 時 20 分に善師野駅に戻る。計画とは逆のコースになったが、山の天候の変化に驚き、紅葉を楽しんだ山行ができた。



—記録：水谷



中京のカメラマン 柴橋、中村両氏が出展

◇光遊会写真展 10日(火) 15日(日) 前10、後5、名古屋市中区栄4、中区役所平和不動産共同ビル7階、市民ギャラリー栄。名古屋市立小中学校・特別支援学校の元教員でつくる写真愛好家サークルの23人が国内外の風景を中心に44点を展示。(同ギャラリー)



第28回光遊会写真展

富士の入山料 4,000 円で調整・静岡



▲夜通して山頂を目指す「弾丸登山」や相次ぐ遭難事故などが問題になっている富士山の登山規制について、静岡県は、登山者 1 人当たり 4000 円を徴収する方針を固めた。次の夏山からの実施を目指す。山梨県側の登山口では 2024 年の夏山シーズンから 1 人 2000 円の通行料を徴収するなどの登山規制を始めている。

沖さんのインドヒマラヤ



▲No.189 で既報の「インドヒマラヤ・パンゴン山脈・メラック峰登山隊」(日本山岳会東海支部)の総隊長として、初登頂に成功した当中京山岳会の沖さんが、12月17日の中日(夕刊)一面トップにとり上げられた。

忘年会12月8日 まるは食堂 参加8人

市橋、織田、酒井、伴野、中村、中平、柴橋、水谷